

響灘ウインドエナジーリサーチパーク建設事業環境影響評価準備書
に対する北九州市長意見

1 鳥類に関する環境影響評価について

(1) バードストライクに関する評価について

予測の結果、明らかとなった鳥類の年間衝突回数に関する評価について、分かりやすく評価書に記載すること。

(2) 事後調査および追加の環境保全措置について

学識経験者等専門家の助言を踏まえて、鳥類に関する適切な事後調査計画を策定し、確実に実行すること。その上で新たに鳥類への影響の懸念が生じた場合には、追加的な環境保全措置を講ずること。

また、万が一、バードストライクが確認された場合には、速やかに関係機関に報告するとともに、必要な措置を講ずること。

(3) 工事計画におけるチュウヒへの配慮について

対象事業実施区域及びその周辺でチュウヒの営巣が確認されているため、営巣活動に影響を与えないよう、営巣時期に配慮した工事計画を策定すること。

2 騒音及び超低周波音に関する環境影響評価について

(1) 風向、風速を考慮した予測について

事業実施区域周辺における風向、風速を考慮した騒音及び超低周波音の予測手法についても検討を行い、当該項目を考慮した予測結果を評価書に追記すること。

(2) 事後調査について

風力発電設備の騒音及び超低周波音については、設備稼働後に事後調査を実施し、最寄りの住宅地付近において影響が無いことを確認すること

。